

ニュースレター発送作業ボランティアに参加して

会社員 小森健一郎

参加動機は、平穏な日常生活を生きている中で何か社会に貢献したいと考えたからです。また、現在でも日本と韓国の間には戦後から引きずる歴史認識等の多くの問題がありますが、経済的な関係が年々深まっている両国はこの問題を解決に向けて努力しなくてはならないはずで、この解決に向けて少しでも力に成れたら・・・と考えて”日韓アジア基金“のボランティアへの参加を決めました。

意外にも当日は韓国の方がいらっしゃらなかったのですが、若干の戸惑いはありましたが、今までの人生ではボランティアは殆どやったことがなくて、参加するには勇気が要りましたが、参加してみると大澤さんを始めとするスタッフの皆様が暖かい雰囲気を作って頂いたので、気持ちが高まりました。

実際に作業をしてみると、多くの方の金銭的な支えによってこの基金が成り立っていることがわかり、この[基金の歴史]と[創設者の禹守根さん]の素晴らしさを実感しました。個人的にも多くのアジアの途上国を旅行した経験もあり、アジアの子供たちに学べる機会を作ってあげたいという思いがあったので、微力ながらお手伝いできたことは本当に嬉しかったです。

他の参加者の方も真面目に作業に取り組んでおり、集中して作業することができました。最近ではパソコンで文書を書くことが多いので、徐々に手書き作業に慣れない部分はありましたが、いつもとは違う達成感がありました。こんな時代だからこそ、手書きでメッセージを書くというコンセプトは素晴らしいと思います。個人的にも手書きの手紙を貰うと凄く嬉しいですし、手書きの方が気持ちは伝わると思います。

発送作業終了後には昼食会があり参加させて頂きましたが、普段の生活では聞けないような新鮮なお話を皆様から聞くことができ、貴重な機会になりました。ボランティアの素晴らしさや、この基金の歴史を知ることができて、この基金の活動に少しでも携わることができて良かったと思いました。また、この基金のイベントには是非参加したいと考えています。